



「女性パワーと地域防災力を語る集い」を開催

日本防火・防災協会

1 はじめに

平成 29 年 10 月 5 日(木) 東京平河町のルポール麹町において、総務省消防庁と当協会主催による「女性パワーと地域防災力を語る集い」を各都道府県女性防火クラブ連絡協議会会長と同副会長等の役員総勢 133 名を迎え、開催いたしました。

2 開催趣旨

女性防火クラブは、昭和 37 年の消防庁通知によりスタートして以来 50 年余を經過し、全国で約 132 万人を有する我が国最大の消防防災組織になっています。その活動は、家庭や地域の防火に加えて、災害の際の支援活動など広く地域の皆さんの安全確保のための活動へと発展しています。

そして、東日本大震災など数々の災害が相次ぐなか、平成 25 年 12 月成立の「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」において女性防火クラブが重要な存在として初めて法律に登場し、これからの防災体制の一翼として女性防火クラブへの期待は益々大きくなっています。

当協会においても昭和 51 年度から 20 年以上にわたり、女性防火クラブ全国大会を開催して、交流を深め志気の高揚を図ってまいりましたが、近年はこれがなくなり、再開を望む声が多くなってきました。そこで、全国の女性防火クラブの代表が一堂に会し、新たな決意のもと、日頃の活動の活性化と組織強化の一層の

推進を語り合い、防火防災思想の普及を図ることを目的として開催いたしました。

3 主催者挨拶

主催者挨拶を野田総務大臣が公務のため欠席により奥野信亮総務副大臣が代読され、「今後多様化する大規模災害に対応するためには、自助・共助・公助の担い手が連携して地域防災力を高める必要があります。その中核となる女性防火クラブには、一段と大きな期待が寄せられております。総務省としても引き続き、女性防火クラブの活動を支援してまいります。」と述べられました。



奥野信亮
総務副大臣

続いて、当協会の秋本敏文会長から「女性防火クラブが発足して 50 年が過ぎ、全国の幹部の方々が集まる機会を作りたいと常々考えておりました。本日『女性パワーと地域防災力を語る集い』と題して開催することができたこと、大変うれしく思っております。また、地域の防災力を高めるために女性の力が不可欠だと考えております。そのために今回皆様に発言していただけるようなシンポジウムを開催いたしますので、ご意見を頂ければと思っております。」とご挨拶いたしました。



秋本敏文
日本防火・防災協会会長

4 講演

“防災文化を支えるダイバーシティ”

千葉商科大学国際教養学部長 宮崎 緑氏より心理学、統計学、環境問題等の観点から、現代社会に必要な文化が自然環境を超えてしまい、それが原因で自然災害が起きてしまう中で、私達はどう対応すればいいのか、「女性だから行動するのではなく、能力があるから行動した人が女性だったといえる社会に進めていかなければならない。」など大型化・多様化する災害について講演されました。



宮崎 緑
千葉商科大学国際教養学部長

“地域防災力の充実強化”

総務省消防庁地域防災室長 天利和紀氏より最近の自然災害による被害状況や地域住民が一体となって活動している地域を挙げ、女性防火クラブ等の自主防災組織の重要性や学校教育の大切さについて、また、消防団や自主防災組織に関する諸制度の解説や教育訓練の制度等について講演されました。



天利和紀
総務省消防庁地域防災室長

“活動状況発表”

「防火防災活動とクラブ運営」と題し、



木沢トモ子
栃木県婦人防火クラブ
連合会会長



中野美和
高知県女性防火クラブ
連絡協議会会長

栃木県婦人防火クラブ連合会会長 木沢トモ子 氏及び高知県女性防火クラブ連絡協議会会長 中野美和 氏に日頃、地元で活動されている状況などについて発表していただきました。

5 シンポジウム

「女性パワーがいきるこれからの防火防災」と題し、秋本会長をコーディネーターにシンポジウムを開催いたしました。

【パネリスト】

- ・青山佳世 氏
(フリーアナウンサー、消防審議会委員)
- ・清原慶子 氏 (東京都三鷹市長)
- ・田村圭子 氏 (新潟大学危機管理室教授)

女性の力を地域の防災にいかすために、具体的に何をすればいいのか、活動にあたりリーダーはどのように組織を運営すればいいのか等、パネリストと参加者間でディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子



パネルディスカッションの様子